

義太夫

新年の辞

新年会の福引きなど

義太夫協会会長 田 辺 秀 雄

新年明けましてお芽出度う御座います。旧年中は色々とお世話になりました。本年も旧に倍して宜しくお願い申し上げます。

というような初春の挨拶は今日の世の中では何か空廻りしているようでどうも身につかないような気がする。元日になっても昔のよくな晴れ々々とした改まった感じというのがすっかりなくなつたようである。

今では東京の正月は火の消えたようなもので、まず無人の街と言つてよい。その上何か正月らしい特徴を示す門松やメ飾りなどもほとんど目に付かない。全く正月はどこかに行つてしまつた。

昨年はろくなことがなかつたので今回は昔を思い出して新年会とそこで流行つていた福引きのことを少し書いて見よう。今でも会社や団体などでは新年会は盛んである。私なども、毎年少なくとも二十位の招待に預かるが到底全部は廻りきれない。今の新年会はほとんどホテルか宴会場で、パーティ形式である。昔は会社などでは座つて決まり切つた和食であつたが、私達がよく行つたのは個人宅の新年会であつた。先生の家や、師匠の家が多かつた。

私の両親はこういうことが好きだつたし、日頃若い男女が多く出入りしていたので自宅

義太夫協会会報 第56号

平成5年1月1日
社団法人 義太夫協会発行
〒104 東京都中央区銀座
6-18-2 新橋演舞場B2
TEL (3541)5471

でもよく行われ、私も子供心に楽しみだつた。中に企画を立てるのが好きなのがいて、プロなども張り出した。余興として好評なのは相変わらず福引きである。今の新年会でも福引きは流行っているが、それは何も趣向がなく、暮れの大売出しの福引きと大差ない。品物は高価なものになつたが、ちつとも面白みがないのである。

昔の福引きは謎掛けに似たもので、いつでもその謎掛けですら知らない人が多いだろう。例の何々と掛けて何と解く、その心はと書いてある。それを読上げると答えが出て品物が渡されるといふのだが少し例を示そう。題「老人に沢庵」、答「歯がきくまい」品物「葉書九枚」、同じく「坊やのお守りはどこ行つた」「お里」「お砂糖」、「ワシントン」の夕日、「東京は朝日」、「煙草の朝日」、来会者を扱つたものでは「何々さん」「悠然」「友禅の布」、「新婚の何さん」「早く帰ろう」「懐炉」など、余り高価なものはないが、中にはこんなものもある。

(2頁下段へ)



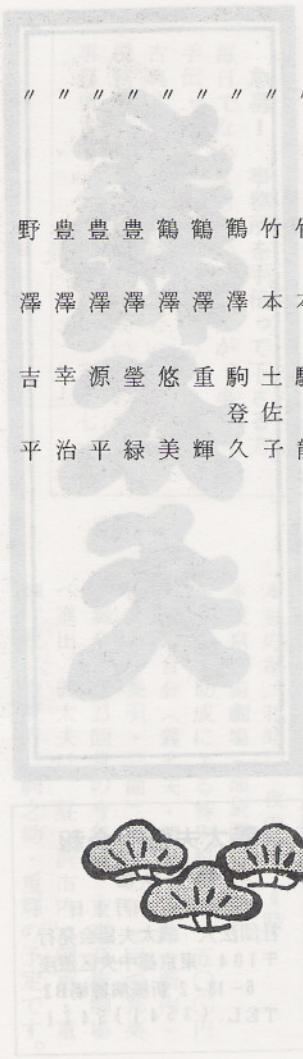
謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。
 義太夫協会の役員は昨年の総会において次の通り選出されました。また、義太夫節保存会の技芸員代表には、昨秋、鶴澤重輝が就任いたしました。略儀ながら紙面にて御挨拶申し上げます。
 義太夫協会ならびに義太夫節保存会は、本年も義太夫節の普及・発展のため力を尽くす所存でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

社団法人 義太夫協会

野澤吉平	豊幸治	豊源平	豊瑩緑	鶴悠美	鶴重輝	鶴駒登久	竹土佐子	竹駒龍	竹越若	竹越孝	竹綾太夫	竹綾一	竹弥乃太夫	竹素八	竹越道	竹駒之助	竹朝重	竹秀雄	竹田辺

監事	景山正隆
名誉会長	吉川英史
参与	竹本春華
	竹本染登
	鶴澤津賀昇



会長	竹本越道
理事	竹本染登
	竹本彌乃太夫
	竹本寛八
	竹鶴登久
	竹鶴駒平
	竹野吉
	竹澤
技芸員代表	鶴澤重輝
顧問	吉川秀雄
	田辺英史

（前頁より）
 「中国の大政治家」「孫文（本名は孫逸仙）」「損一銭（なにもくれず逆に一銭貰う）」「天文学者」「夜間見るばかり」「葉籥を見せるだけ」、以上は明治二八年から昭和の初めまでの父が書きとって置いたノートからで、他に市販の本も数冊あるが、そういう企画の相談を受けるまで内緒にして置く。せめて正月だけでもこうしたのんびりさが欲しいものである。

重要無形文化財総合指定 義太夫節保存会



加賀春日 ひとしごき年賀状

あけましておめでとうございます。
メモと鉛筆を手に楽屋でひとことづつ
聞きました。昨年好評だったので、今
年は、竹本（歌舞伎義太夫）の楽屋へ
も出張いたしました。
(編集部)

△女流義太夫▽

禍多き年もゆき新春の幕開きです。女流義
太夫は今年も力をつくします。
どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

竹本 朝重（みずがめ座・A型）

昨年は大変な事ばかりで悲しい年でした。
今年はずっと平穏な年でありませう、どうぞよ
ろしくお願ひいたします。

竹本 綾一（てんびん座・A型）

エエト、がんばりまーす。

今年もよろしくお願ひいたしまーす。

竹本 綾貴世（やぎ座・B型）

夢見て暮らしたい。

竹本 華昇（うお座・B型）

私は焼とりよりとりわさが好きです。

竹本 越京（しし座・A型）

おめでとうございます。今年から義太夫で
たべて行きたい！

(毎年云ってたりして……)

竹本 越孝（いて座・O型）

去年は悲しいことの多い年でした。今年
は明るい話題がたくさんありますように。
どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

竹本 越道（みずがめ座・AB型）

不景気でアルバイトもありません。
仕事下さい！

竹本 越若（みずがめ座・O型）

いい出会いがありますように。
今年もよろしくお願ひ致します。

竹本 駒国（いて座・O型）

長いような短いような2年がすぎ、やっ
と3年目になります。本年も昨年同様よろ
しくお願ひいたします。

竹本 駒輝（やぎ座・A型）

あけましておめでとうございます。

心をひとつにして協会公演を成功させて
いきたいと思ひます。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

竹本 駒之助（おとめ座・O型）

目もだんだんと回復しております。今年
は出させていただきたいと思ひます。

竹本 駒龍（かに座・多分O型）

年末は引越してあわただしかったです。
今年もよろしくお願ひ致します。

竹本 土佐恵（いて座・A型）

新年おめでとうございます。ゆっくりの
一歩を基に、二歩進みたいと思っております。
本年もよろしくお願ひ申し上げます。

竹本 土佐子（さそり座・A型）

八十一になりますが、齡とっても元気で
からネッ、今年も頑張れそうですヨッ！

竹本 素八（みずがめ座・O型）

ウーッ、B型になりたい!!

竹本 素丸（みずがめ座・O型）

諸先輩にいろいろ教えていただきながら、
一生懸命やりたいと思ひます。
よろしくお願ひ申し上げます。

竹本 弥栄（てんびん座・O型）

今年も一歩一歩努力して参りたいと思ひ
ます。何卒お導きの程、よろしくお願ひ申
上げます。竹本 佳之助（しし座・B型）

しばらく東京で生活することになりました。
よろしくお願ひ致します。

鶴澤 寛也（さそり座・A型）

がんばるしかない!

鶴澤 駒治 (みずがめ座・O型)

足腰が悪くて休演してご迷惑をおかけしてすみません。またよくなりましたら出たいと思っております。

鶴澤 駒登久 (おとめ座・O型)

あけましておめでとうございます。

私でお役にたちますれば……

今年もよろしくお願い申し上げます。

鶴澤 重輝 (ふたご座・B型)

御陰様で二年もちました。今年もどうぞよろしく願います。

鶴澤 寿々方 (うお座・A B型)

昨年は体調をくずしたので、今年は健康第一を心がけます。

皆様も体だけは気をつけて下さい。

鶴澤 津賀寿 (しし座・A型)

プリンス 命♡

鶴澤 悠美 (うお座・B型)

一歩でも半歩でも本物に近づきたいと思ひ勉強いたします。

豊澤 幸治 (おとめ座・A型)

体がよくなりましたら、また出させていただきます。

野澤 錦輝 (やぎ座・A型)

△竹本・歌舞伎義太夫▽

初春に五座狂言回る舞台の竹本連中

竹本 泉太夫 (いて座・A型)

デンデンと今年も丸本狂言の発展を祈り

竹本 清太夫 (みずがめ座・O型)

一歩一歩踏みしめて。

竹本 国太夫 (おうし座・O型)

本年もヨロシク!

竹本 幹太夫 (いて座・A型)

昨年は各方面の方々に大変お世話になりました。今年こそ気を引き締めて精進したいと思っております。

竹本 実太夫 (おひつじ座・A型)

世界人類が平和でありますように。

鶴澤 寿治郎 (いて座・B型)

今年こそ今年こそはと横むよむ

鶴澤 正一郎 (みずがめ座・O型)

………毎日初日です。

豊澤 瑩緑 (やぎ座・B型)

そういう理由わけで私が豊澤浩樹です。

豊澤 浩樹 (かに座・O型)

御参考までに……①

おひつじ座 正義感が強く、情熱家。でも、いじっぱりいじっぱりの面もある。

おうし座 自分のペースでのんびり屋。内面はガンコで責任感が強い。

ふたご座 社交家で好奇心旺盛な一面、集中力が足りない。

かに座 世話好きで、相手の気持にとっても敏感。ロマンチックな一面もある。

しし座 目立ちたがりでプライドが高いが、とても楽道家。割と単純な面もある。

おとめ座 几張面で手先が器用。一見おとなしそうだが実は強情。

てんびん座 おしゃれ上手であっさりした面を持つ。でも八方美人といわれることも。

さそり座 とても用心深い。みんなの縁の下したの力持ち的な存在。

いて座 何でも興味をもちサラリとこなしてしまうが、あきっぱく、自分勝手なところもある。

やぎ座 ひとつのことをコツコツやっていく慎重派。ちょっと自分に甘い面も。

みずがめ座 新しいことが大好き。個人的だが理想ばかり追及してもダメ。

うお座 人情家でお人好、素直なので気分がすぐ顔に出してしまう。

………などといわれています。

今年は血液型も載せてみました。

5頁下段もどうぞ御参照下さい。

新役員御紹介

□昨年10月6日付け理事会案に基づき、左の方々が、役員就任を御承諾下さいました。

顧問

河竹 登志夫氏

相談役

佐野 文一郎氏

久保庭 信一氏

高橋 秀雄氏

茂手木 潔子氏

□池田弘一氏(神田外語大学教授・義太夫協会相談役)は、昨年10月6日の、定例理事会において義太夫協会推薦会員に推薦されました。吉川英史名誉会長・田辺秀雄会長

・佐々木明郎監事・景山正隆監事に続いての推薦会員で、民法上の社員となります。

□鶴澤重輝師は、昨年11月、重要無形文化財総合指定「義太夫節保存会」の技芸員代表

に就任されました。人間国宝・故竹本土佐廣師の後任の重要な役職です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

野澤吉平師勲五等瑞宝章

義太夫協会ならびに義太夫節保存会の理事・野澤吉平師が、昨年の叙勲で勲五等瑞宝章を受けられました。11月3日新聞発表、17日、久栄夫人と共に伝達式に臨まれました。このたび、その内祝として、義太夫協会に二十万円の御寄付を下さいました。

国立劇場民俗芸能公演

車人形と乙女文楽

*平成5年2月26日(金) 6時半

*平成5年2月27日(土) 1時半

*全席指定三三〇〇円(学生二七〇〇円)

*国立小劇場 三二六五―七四一―

車人形「葛の葉 乱菊」二度目の子別れ」

八王子車人形/西川古柳座

浄瑠璃||竹本綾一

三味線||豊澤幸治・鶴澤駒治

乙女文楽「新版歌祭文 野崎村」

神奈川県茅ヶ崎市/桐竹智恵子

人形劇団ひとみ座

浄瑠璃||竹本素八・竹本朝重

竹本駒之助 竹本越孝

竹本越若

三味線||鶴澤悠美・鶴澤寿々方

車人形「迷宮譚―新釈お伽双紙―」

岸田理生作 半田淳子作曲

八王子車人形/西川古柳座

琵琶||半田淳子

三人遣い人形の技法に学んで誕生した一人遣い人形・八王子車人形と乙女文楽、女流義太夫演奏会にも個別にゲスト出演していただいたことはありますが、両方を一日で見られるまたとないチャンス!

お問い合わせは国立劇場へ。

御参考までに.....②

某、森永製菓のCM「ハイチュウの血液型別買い方」によるとこうなります。

A型 優柔不断で客という意識がない。

A型は思い切って買え。

B型 行動がいきなりでおおざっぱ。

B型は落ち着いて買え。

O型 八方美人で調子がいい。

O型はおとなしく買え。

A B型 高飛車で能書きたれ。

A B型は黙って買え。

義太夫協会ぎっての血液型オタク(?)と噂される竹本清太夫説ではこうなります。

A型 ルールを尊重、他人の気分神経

質、家庭を大切にす。

B型 うそがつけなく正直者、行動は活

発、思考はやゝ無責任。

O型 他人の自分に向ける好意を気にす

る、人の好き嫌いがあ、仕事は

パワーで迫る。

A B型 批判精神が強い、自分の内心を

人に読まれるのを嫌う、疲れや

すいので適度な休養をとる。



相談役 豊澤猿三郎師逝去



前号の会報で「涼しくなるまでしばしお休みを」という伝言を寄せられた豊澤猿三郎師（社団法人義太夫協会相談役・重要無形文化財総合指定「義太夫節保存会」監事）が、9月7日、心不全にて他界されました。「しばし」どころか「永遠に」になってしまったのです。

猿三郎師は、男性の義太夫演奏者の最長老で、昭和3年、義太夫因会の役員就任以来、64年にわたって、義太夫節関係団体の役員を続けてこられました。幼少から、昭和60年に引退するまで、舞台生活は実に75年にも及びました。

また義太夫協会の会報『義太夫』の連載は

その飄逸な筆致と資料的価値の高さにおいて各界から高い評価を得ていました。連載は、第14号（昭和53年1月）から53・54合併号（平成4年5月）まで全26話、歴史的資料となるもの、笑い話、時にはちょっとエッチな話と毎回変化に富んで大好評だったことは、御愛読者各位の御承知のとおりです。「一冊にまとめたら」というお声も届いていましたので、コピーをとって『猿三郎随筆』と表紙に書いてたら一冊の本になりましたので、これは御霊前に供えさせて頂きました。

晩年は、自ら女流義太夫演奏会を監修、役員会も体調の許す限り出席され、文字どおり「相談役」として、協会運営上のアドバイスをして下さいました。協会の大久保彦左衛門でんと構えた御意見番でした。

二、三年前、勸進帳が女流義太夫の企画のぼった時（都合で実現はしませんでした）猿三郎師が「勸進帳なら面白い話があるよ」と書いて下さった原稿が未掲載のまま残っておりまして。ここに、掲載させて頂き、師の御冥福をお祈りしたいと存じます。長い間本当に有難うございました。

遺稿

勸進帳について

豊澤猿三郎

大正四年、私が十七歳の六月でした。通俗教育社の主催で明治座で邦楽大会がありました其の時、私の師匠猿之助師と杵屋栄蔵師との合議で勸進帳の合奏が決定しました。

【義太夫】

太夫 弁慶 松廼家音助

富樫 徳一松兼松

義経 新福本欣助

四天王 松廼家愛三

番卒 鶴菱家増子

豊澤猿之助（五世）

豊澤猿三郎（六世猿之助）

豊澤小 猿（猿蔵）

豊澤猿 七

豊澤猿 治（猿三郎）

【長 唄】

唄 岡田家金八

尾張家新八 外六名

三 絃 三河家鈴吉

鳴 物 金布袋さだ 外六名

太鼓 松柏家友栄

小鼓 鶴菱家長吉

小鼓 柏家 老松

外七名

富樫を語った徳一松兼松さんは、相生翁さんが青年時代、東京の実家(よし町三輪家)に居られた時、兼松さんは十歳ほど年上でしたが、大変仲がよかった事は有名でした。番卒の増子さんは、猿之助師を尊敬して上京して来た人ですが、其の頃の女義界は美人が多かったのと増子が余りにもお多福なので、師匠の案として、いっそ義太夫芸者になれと言って仕込みました。大正の終り頃から有名になって昭和に入って全市花街数十名の太棹芸者の首位に立つようになりました。

さて又勸進帳のお話に戻りますが、上手難段上が太夫、中段が三味線、下手上段に唄八名、中段に三絃八名で、上下八の字に並び、舞台中央一番前列に鳴物十名と、全部で三十六名が並び、お客様は先ず啞然としましたが曲が進み、延年の舞から三十六名の大合奏となると、お客様は熱狂です。瀧流しの合の手の時、四十歳前後の袴を付けた男の人が、花道の付け際へ跳び上って延年の舞を舞い始めました。其の舞の結構さ、お客様は怒るどころか大喝采です。表方の出方さんも舞が余り上手なので、そういう曲と思って喜んで見ていました。

後で聞いたのですが、或るお能の宗家のお弟子さんで有名な人だったのです。宗家は泣いて其の人に五年間能舞台へ上る事を禁じました。其のお弟子さんは、余程邦楽に魅入られたのか、四代前の藤間勘齋師について五年間鍛え抜かれ、五年目の謹慎明けの日、宗家においてまを願い、宗家も喜んでこれを許し、

生涯仲睦しく付合っ居られました。お弟子さんは、新舞踊を編出し、大勢のお弟子に囲まれ幸福に一生を暮されました。

序に申しましょう、義太夫は初め六本です。長唄さんは、義太夫の三の音を二の音に取りますから、私等の言う表六本になります。延年の舞以後は義太夫だけが二上りにして、長唄の高調子の弾いている事を一オクタ一ブ下で弾くことになります。大変お永くなりました。ご退屈様でした。

【豊澤猿三郎(本名一京谷浅吉)年譜】

明治32年6月12日 鶴澤才造の二男として大坂に生れる

43年 五世豊澤猿之助に入門、豊澤猿治

大正8年 豊澤猿三郎(三代目)となる。

昭和3年 義太夫因会の役員となる

4年 義太夫因会 大銀杯を受く

45年 社団法人義太夫協会理事

48年 社団法人義太夫協会相談役

51年 芸団協(日本芸能実演家団体協議会)芸能功労賞

55年 重要無形文化財「義太夫節」総合指定保持者

58年 義太夫節保存会監事

61年 勲五等瑞宝章

平成4年9月7日 心不全のため逝去

慈敬院豊寿信士(享年93才)

掲載タイトル一覧

- 14号 初春の七福神のお話し
- 16号 結相撲誉二代鑑
- 20号 昔の因会の事を話せとのことで
- 24号 昔浪花義太夫道のしきたりと掟
- 25号 七十年前の寄席の雰囲気
- 26号 七十年前の寄席の雰囲気(続)
- 27号 昔の寄席の内外断
- 31号 竹本播磨太夫師と竹本小清師のお断
- 32号 祖先祭其の他の事
- 33号 祖先祭余話
- 37号 大正初期の新富座
- 38号 吉一(清一)の忍と昇菊・昇之助
—— 文楽素浄瑠璃興業 ——
昇菊・昇之助の不行儀
- 40号 明治終り 小若太夫と 大いたずら 政二郎の
- 41号 素と玄のいろいろのお断
- 42号 鶴澤一二郎の八重桐廓断の二丁鼓
- 43号 友情と徳義
- 44号 昔の巡業
- 45号 引き際
- 46号 懐かしい本牧亭さん
- 47号 新春のお笑い断
- 48号 大変おそまつな真打さん
- 49号 安永寿さんのお断
- 50号 曲弾の名手福竜さんのお断
- 51号 七十年前の越喜美さんのお断
- 52号 古太夫さんのこと
- 53・54号 合併号 お静礼三小磯ヶ原の事
- 56号 勸進帳について

猿三郎師の思い出話

常務理事 竹本 弥乃 太夫

私は猿三郎師のお兄さんの猿蔵師に師事していた関係で、ことさら猿三郎師とは縁が深い。逝くなる数年前まで、舞踊の地を、最期の最後まで猿三郎師と共に、一緒の舞台を勤めさせていただいた。私をこの道に引き上げて下さったのは、他ならぬ猿三郎師である。

花柳であれ、藤間であれ、西川、若柳各流各派、舞踊界の義太夫の地は、殆ど師の手に掛かっていたと思われる。

舞踊の会は今でこそ盛んであるが、一時代前までは、さほど忙しくはなかった。それでも、舞踊界では師を知らない人はいない。

本行の義太夫は勿論のこと、舞踊地の義太夫と、何でもよくご存じで、私など、どれほど教えて頂いたか数知れない。それとまた私は師から舞踊の仕事を頼まれる度に毎回、貴重な丸本や五行本を一冊づつ下さったので、今では随分たまって、整理番号をつけて自分なりに蔵書として保存している。その中には、あまり出たことのないような演目など、きれいに朱がふつてあると、嬉しくなる。才造さんという師のお父さんの本もある。

中でも逸品は千両幟の《櫓太鼓の曲引き》

の弾き方が、図解入りで書かれている本である。お陰で私なりに研究が出来、またお弟子さんの稽古にも役立させて貰って今では本当に感謝している。

師が舞踊界で大きく君臨されたのは、生来派手な三味線で、手はよく廻り、舞台がパッと明るくなるような雰囲気を出すから不思議であり、人気があった。華やかでなければ、舞踊としての価値はない。

また師は、大変な勉強家であり、努力家でもある。舞踊の地は、同じ曲名でも流派によっては非常に異なるため、各流儀に合わせた譜本を克明に作られた。大変几帳面に書かれているその譜をよく見せてもらったものである。協会会報に投稿されるエッセイを見ても分かるように、師は非常に記憶力のよい方でありました、大変に話術が優れていて、よく人を笑わせた。義太夫には、語りものに限らず三味線でも、いろいろな口伝が残されているものである。私はそれらを伺うのが楽しみであった。

師が、蛸殻町の稽古場に行くのに、京橋でバスを降り、わが家に立ち寄ってから歩いて

行かれるその健脚ぶりたるや真に脅威である。「ここから、もうバスはお乗りにならないのですか」と聞くと決まって「いや運動のため、健康のために歩きます」とおっしゃる。帰りも同じ元来た道を歩かれるのである。

昔、現在の私の家から百米と離れていない所に住んで、稽古をしていたと言われるから、郷愁を感じていられたと思う。

今は引退された、文楽の越路大夫さんが、若いとき、一時トンカツやになって、長い白のシャッポをかむり稽古場に配達して来たによく話された。義太夫より、そのほうが良かったと言ったが、その後、三越の三和会で越路さんにあったら、やはりやめられないので、元の太夫になりましたと面目なさそうに言われたとか。それには、話術の上手な方だから、多少のフィクションもあるだろうが、そんな話をしてくれた。

艶聞もなかなか多く、誰々の奥さんは昔は女優だったとか、また誰々さんはアゲマンで亭主が偉い出世をしたとか、子供が欲しければ、お尻の大きな女を選びなさい、私を見てご覧、子供に恵まれたと自慢していた。ともかく女性に関する話は得意で、右に出る人はいないくらいに明るい。

ご立派なご息さんたちに守られて、黄泉の国に旅立った猿三郎師だが、今頃は、大勢の昔なじみの女性に囲まれて、愉快的話をしていることと思うと、楽しくなってくる。

義太夫協会もついに偉大な男性を失った。ご意見番であると同時に、優れた生き字引の

損失は大きい。文案にない、東京での義太夫の伝統を守り通した方と言っても過言ではない。それにつけても、残された正会員の今後の協会運営の対処の仕方が、問題になって来て、責任を感じる次第である。今はただただ師のご冥福を祈ってやまない。

多美子さんも……



豊澤多美子 (本名 上口蒼生子)

三味線の豊澤多美子さんが、昨年10月12日48才の若さで逝ってしまいました。癌でした。義太夫教室34期修了後、豊澤仙廣(もと義太夫協会副会長)に入門、62年からは、野澤喜左衛門に師事しましたが、この頃から病魔は巣くっていたようです。日産玉川病院の薬剤師として勤務しながらの義太夫修業、仕事と稽古の調整には、随分苦勞したようです。最後の舞台は、平成3年3月、国立演芸場での「故豊澤仙廣師追善会」でした。が、実はこの時すでに、「師匠の追善だから何とか弾きたいが、三味線を運ぶことが出来ない」とのこと、事務所から運んだ三味線で、咳を押えながら舞台を勤めたのです。

告別式は10月15日、上野毛の善宗寺で行なわれましたが、降りしきる雨のせい、地面いっばいにキンモクセイが散って、何とも悲しいお別れでした。女優の太地喜和子さんと同じ日に亡くなり、同じ日の告別式、年令も同じでした。 釋尼蒼嶺

甲 電

多美子さんが義太夫の世界に入って十年、長い修業の道のりなれば、どんなにか残りだったことでしょう。私達は、大切な仲間を失って本当に悲しくショックを受けています。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。 社団法人義太夫協会一同

若過ぎた死を惜しみ

竹本越若

多美子さん、病氣と闘ったあなたの勇氣と努力に心から敬意を表します。

あなたは、一人で自分を養い芸を貫こうとして、大変な苦勞をしていました。一人で生きて、芸を続けることは、食べる為に働く時間と、稽古時間との絶え間のない、戦いの連続だったと思います。

あちらを立てれば、こちらが立たず、苦悩と絶望との間を必死になって、芸を続けたいというその思いで、三味線の稽古をがんばって行きました。しかし、非常な病が、あなたを蝕んで行きました。

一度は、手術を経て希望に輝きながら三味線を弾いているあなたに、再発という残酷な事実が、どんなにあなたを悲しませたことでしょう。

運命とは、何と苛酷なことか。神は存在しない、「どんなに努力しても全て何の役にも立たないんだ」そんな風に私は絶望しました。

しかし、あなたは絶望しながらも、病に負けず闘病生活を続け、そしてこうして病が、あなたを私の目の前から永遠に連れ去りました。

私は、あなたがどんな思いでいたか、それを考えるといたたまれません。

今私があなたに言えることは、あなたの生きられなかった分を、あなたが道半ばであきらめなければならなかった事実を、重く受けとめ、あなたの分も生き、あなたのできなかつたことをやらなければならぬと思っています。そして、絶望等と、のんびり感傷に浸ってはいはならないとも思っています。

私は、あなたが自分の境遇に似てるような気がして、姉のように思っていました。

これからも、私の記憶の中で決して消えることはないと思います。

あなたと学んだ日々、あなたと立った舞台、あなたと話合った人生論、あなたが稽古の後作ってくれたホットケーキの味。

あなたに会える時、私は胸を張ってあなたに、ご報告できるように、芸へ衿を正して向き会うつもります。

早過ぎたあなたの死へ。

(理事)

女流義太夫共和会あれこれ(七)

— 故豊澤猿三郎師を偲ぶ —

竹本綾太夫

前号は故竹本土佐広師の追悼文としたので今回は、本来の女義共和会に関する雑文となる筈だったが、さき頃豊澤猿三郎師が亡くなられたので、急遽師を偲ぶ一文に替えさせていたゞくことにした。

猿三郎師の御功績については、もう一口には言い盡くせないが、昭和三年(筆者が生まれる五年程前)に、現協会の前身「東京因会」の役員に就任されてより、亡くなられる迄の「六十四年間」、様々の役職を重ねられてその運営・後進の指導に盡力されたことは、稀有のことである。

私が、初めて口を利かせていたゞいたのは昭和三十三年の協会役員会の席のことで、師は、理事・公演部長で、私は、お茶汲み兼書記であった。背をピンと伸ばした堂々たる舞台姿と、あの鮮かな音色については、かなり以前から承知していたが、実像も、一本筋が通り、行動力抜群の方であった。

当時の役員会は、松太郎会長・六代目猿之助師・猿藏師・猿平師、そして重造師と湊太夫理事長、女性は二代目綾之助副会長・土佐広師・重之助師・小津賀師・猿幸師・三生師

等々錚々たる顔触れで、現在の吉平師・越道師は、最も若い役員であった。その中で猿三郎師は、公演部長という面倒な憎まれ役を永年勤められたが、蓋し適任であった。

たゞの親睦会ではなく、事業をする協会ではなくては、という湊太夫理事長の斬新な提案を、最も早く理解して、決すると直ちに行動力を発揮するのはいつも猿三郎師であった。

一例を挙げると、昭和三十四年に、本牧亭女義を一手に引受けて奮闘しておられた二代目綾之助師が亡くなられ、協会としてどのようの助力するかが問題になった。その時理事長が「幾つかの組を作り、その組長が協力して興行を継続させたら」という案を出された。「宝塚の花組や星組のように分けて競演するわけですね。肝心の組分けその他、発足して軌道に乗る迄、公演部長の私がお手伝いしましょう」と、猿三郎師は即座に組分け案を作製されたが、それは理事長が秘かに用意してあった腹案と、寸分違わぬものであった。

これが、松竹梅藤桐五組による、女義共和会発足の出発点になったのである。

もう一つ、昭和三十八年の役員改選時、総

会前の役員会で、理事長が「こゝにお集りの方々は、ほとんど当選されるであろう。その席で新理事が会長・副会長を互選するのだが、会長は松太郎師と皆さん一致するだろうが、副会長については私は仙広さんを推したいと思う」と、突飛な提案をされた。なぜ突飛かという、仙広師の協会加入は二年半前で、直ぐに理事になったとはいえ、本人を知らない会員もかなりいる筈だし、第一年功を重ねた役員を、一気に飛び越す話だからである。丁度仙広師が欠席されていた折とて、様々な意見が飛び交った。理事長の真意は、副会長候補が三・四人いて、誰がなってもしこりが残る、それなら貫禄・視野・実行力を備え、そして女義振興に情熱を持っている仙広さんが最適任だ、ということのようであった。

その時、誰しも反対の急先鋒と思われた猿三郎師が「湊さんの言わんとすること、よく考えると納得がいくので賛成します」と言われた。これが切掛で、なんとか合意が整ったのである。果して仙広師は、昭和五十八年の引退迄の二十二年間、副会長として協会と女義の為に粉骨砕身盡くして下さった。それを思うとこの役員会は、大変な転機であった。

このように、猿三郎師は常に柔軟な思考力を保持され、九十才を過ぎても決して衰えることはなかった。百才迄も、と思っていた後輩の私共・協会にとつて、大きな損失であった。師に報ゆる術薄かりしを私共は悔む。お許しを願ひ、御冥福を祈るのみである。

第八回豊澤仙廣賞は

鶴澤悠美に

河野国声常任相談役の提唱を受けて、豊澤仙廣師(もと義太夫協会副会長・義太夫節保存会会長)の功績を記念して昭和61年に創設された「豊澤仙廣賞」、平成4年度受賞者は鶴澤悠美に決定いたしました。副賞は、株式会社十全を通じて毎年河野国声氏より授与されています。

鶴澤悠美が、太棹三味線の可能性を追求して、幅広く活躍中のことは皆様御承知のとおりですが、義太夫教室の三味線講師も二年連続担当、これまでに無い多数の受講者の一人一人に、丁寧な指導を続けています。また、女流義太夫演奏会初春公演(22日)には、関取千両轅の櫓太鼓の曲弾きを披露することになっていきます。

【鶴澤悠美略歴】

- 昭和54年 竹本駒之助に入門
- 55年 野澤錦糸に入門、野澤錦鈴
- 56年 本牧亭にて初舞台
- 57年 日本音楽集団に入門
- 58年 NHK邦楽技能者育成会第28期修了
- 61年 芸団協助成新人奨励賞
- 62年 東京芸術大学大学院音楽研究科修了
- 鶴澤重輝に師事
- 平成3年 芸術選奨文部大臣新人賞
- 玉川大学講師・義太夫教室講師
- 4年 義太夫協会理事

〈豊澤仙廣賞受賞者一覧〉

- 昭和60年度 竹本 朝重・竹本駒之助
- 61年度 竹本 綾一
- 62年度 竹本 越若
- 63年度 竹本 素丸
- 平成元年度 小林トシ子・戸叶 琢通
- 2年度 鶴澤駒登久
- 3年度 鶴澤 寛八
- 4年度 鶴澤 悠美

平成4年度芸団協助成新人奨励賞

竹本綾貴世に決定

3月23日 演芸場で祝う会

平成4年度芸団協助成新人奨励賞は、竹本綾貴世(故竹本綾之助門下)に授与されることに決まりました。

哀しいことに、師・三代目竹本綾之助は、この受賞を知ることなく昨年4月に亡くなりましたが、姉弟子の綾一が、師匠の分まで暖かく見守っています。

【竹本綾貴世略歴】

- 昭和58年 義太夫教室第35期修了
- 三代目竹本綾之助に入門
- 61年 本牧亭にて初舞台 竹本綾貴世
- 若手女流義太夫四人の集い「なでしこの会」結成に参加
- 平成2年 豊竹呂大夫に師事
- 4年

〈芸団協助成新人奨励賞受賞者一覧〉

- 昭和48年度 竹本 綾司
- 豊澤 公佳(現竹本土佐恵)
- 豊澤 公治(現豊澤 幸治)
- 49年度 竹本路之助
- 50年度 竹本素之助
- 51年度 竹本 越若
- 52年度 豊竹公二郎
- 53年度 野澤 松江(現野澤 吉三)
- 54年度 鶴澤津賀友
- 55年度 豊澤みどり(現豊澤 仙風)
- 56年度 竹本葵太夫
- 57年度 豊澤 仙雛
- 58年度 鶴澤寿治郎
- 59年度 野澤 松也
- 60年度 野澤 錦鈴(現鶴澤 悠美)
- 61年度 鶴澤 松也
- 62年度 竹本 越恵(現竹本 恵子)
- 63年度 豊澤 多美子(故人)
- 平成元年度 竹本 越京
- 2年度 鶴澤 駒治
- 3年度 竹本泉太夫
- 4年度 鶴澤泰二郎
- 鶴澤津賀寿
- 竹本綾貴世



協会の動き

 平成4年9月7日 義太夫教室第45期中級
 三味線コース・語りコース開講
 於演舞場スペースアルファ
 9月12日 祖先祭 於回向院
 9月14日 平成4年度民間芸術等振興費補助
 金交付決定額内示
 9月16日 平成4年度重要無形文化財等補助
 金交付決定通知
 平成4年度東京都文化財保存事業
 費補助対象事業の内定通知
 教師のための義太夫講習会(文化
 庁助成)「初代竹本義太夫の命日
 に因んで」竹本義太夫の芸談」企
 画・構成・講演―吉川英史
 於国立演芸場

'92年9月より
 '93年1月より

9月25日 平成4年度民間芸術等振興費補助
 金交付申請書提出
 10月6日 定例理事会 於布善俱樂部
 10月8日 平成3年度事業報告・決算報告
 平成4年度事業計画・予算 理事
 登記完了届け 定款の一部変更認
 可申請書 東京都教育庁に提出
 公演部会 於事務局
 10月17日 公演部会 於事務局
 10月21日 平成4年度東京都文化財保存事業
 費補助金交付申請書提出
 10月22日 女流義太夫演奏会 於国立演芸場
 10月31日 普及部会 於布善俱樂部
 11月4日 公演部・演芸場・ひがし座打合せ
 於国立演芸場
 11月9日 定款の一部変更認可

教師のための講習会に中学生が28人!!
 9月22日の国立演芸場に、足立区の伊興中
 学校の先生がナント28人の生徒さんを引率し
 てきて下さいました。これまでも、数人とい
 う例はありましたが、ざっと一クラスもの若
 い御客様は初めてのこと。義太夫を50年間聴
 き続けているお客様が前代未聞だと感激して
 「みんなでジュースでも」とお小遣いをあげ
 てしまうという珍しい出来事がありました。

(新) 第六条 推薦会員 この法人の事業目
 的に賛同し、協力する研究者のうちか
 ら、理事会の議決をもって推薦する者
 (旧) 第六条 推薦会員 この法人の事業目
 的に賛同し、協力する研究者のうちか
 ら、理事会の議決をもって推薦する者
 で、会費年額五〇〇〇円を納める者

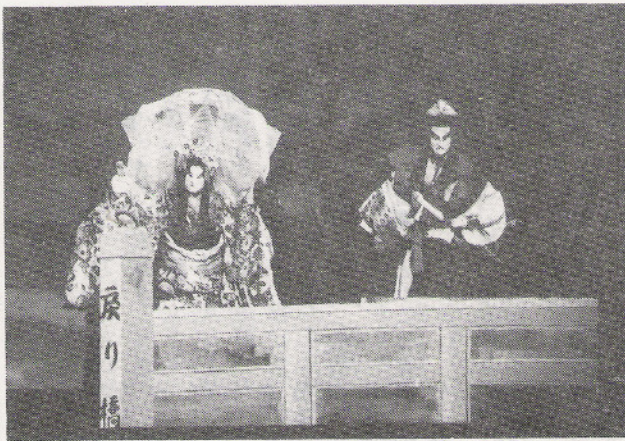
11月11日 第12期竹本研修生発表会
 於国立演芸場

11月12日 平成4年度芸術文化振興基金交付
 決定通知(10月26日付け)

11月19日 常務理事会 於布善俱樂部
 11月19日 定例理事会 於布善俱樂部

11月22日 教師のための義太夫講習会(文化
 庁助成)企画・構成・講演―池田
 弘一 特別出演―神奈川県立厚木
 東高校人形浄瑠璃部ひがし座OB
 於国立演芸場
 於あぜくら

22日 公演部会



ひがし座OB会

神戸外語大学広報部提供

11月24日付け 平成4年度民間芸術等振興費

補助金(青少年等芸術普及) 交付

決定通知

11月25日 平成4年度年末調整等説明会

於京橋会館

11月27日 公演部会

於事務局

12月1日 平成4年度民間芸術等振興費補助

金(青少年等芸術普及) 概算払い

請求書提出

於芸団協会議室

12月11日 邦楽連合会

於国立演芸場

12月21日 普及部会

於文明堂

12月22日 新入正会員オーディション

於国立演芸場

22日 女流義太夫演奏会 第22回心身障

害児のための特別公演(チャリテ

イ・NHK厚生文化事業団共催)

於国立演芸場

(御協力有難うございました。結果は、次号

にて御報告させていただきます)

平成5年1月1日

義太夫協会会員名簿'93発行

義太夫協会会報第56号発行

平成5年2月27日(土) 12時(予定)

*東京証券会館ホール(茅場町下車)

*入場無料

義太夫教室OB同窓会設立か?

義太夫教室は、只今第45期生が受講中、2月27日の「義太夫教室OB演奏会」に向けて毎月曜日、スペース・アルファで稽古にはげんでいます。同窓会組織のようなものを作ったらか、情報交換の場を設けたらといった声があがって久しいのですが、ようやく具体化のきざしが見え始めたようです。1月23日、3、5時文明堂築地店(歌舞伎座となり)にて「設立準備会」が開かれる事になりました。

【寄 贈】

和田 博様 祖先祭スナップ 4組
桜井久子様 戦前戦中のプログラム 各1
丸本・台本・番組 各1
稽古本 32
義太夫大鑑 上下
番付 8

豊澤 瑩緑様
鶴澤寿治郎様
鶴澤宏太郎様
高野 俊雄様

女流義太夫演奏会12月公演
プログラム印刷一式 五千部
義太夫協会'93会員名簿
印刷一式 千部

神田外語大学広報部様 教師のための義太夫講習会(4年11月22日) 記録写真

クイズクイズクイズ
クイズクイズクイズ正解発表

前号の正解は、竹本土佐廣師。竹本伊達子時代の写真でしたから、伊達子のほうがより正確かもしれません。当選は、横浜市の水口政次さん、世田谷区の服部素子さん、足立区の林央子さんでした。

さて、私は誰でしょう 第3弾!!



ヒント いつも夢見ている?
ふたつの名前を持つ女

* ハガキまたは電話で、3月末日までに事務局へ * 3名様に女流義太夫演奏会御招待券進呈(正解者多数の場合は抽選です)

* どちらが一方の名前で正解とします。



巷談本牧亭(新橋演舞場)

昨年12月、安藤鶴夫原作、松竹・前進座提携による「巷談本牧亭」が、新橋演舞場で上演され、昭和31年頃の本牧亭が舞台上に再現されました。登場する娘義太夫・竹本桃枝は現副会長・朝重さんでは？という見方があるようですが、それは誤りで、綾子という人がモデルらしいとのことでした。

しかし、この時代の本牧亭をなつかしむことのできる方はどの位いらっしゃるでしょうか。女流義太夫が40年間本牧亭で公演していたことを御存じないお客様のほうが多いかもしれない。昨今、女流義太夫の「道場」であった本牧亭は遠くなりました。が、劇中に流れた義太夫は、若き日の(?!?)駒龍・朝重両師の声、女流義太夫の歴史は本牧亭ぬきに語ることはできません。

本牧時代大変にお世話になった支配人の岩崎さんが病氣療養中とのこと、またピラ字を書いて下さった久井田さんも入院中とか、くれぐれもお大切になさいますように。

急募! 事務所を手伝って下さる方
毎日でなくてもよいのですが、事務所を手伝って下さる方をさがしています。
古典芸能に興味を持った若い方、経理・事務の出来る方歓迎。お問い合わせは事務所まで ☎(三五四一)五四七一

【短 信】

□景山正隆氏(東洋大学教授・義太夫協会監事)は、文部省科学研究費補助金公開促進費によって昨年2月に出版された著書『歌舞伎音楽の研究―国文学の視点』(新典社刊 一七五〇〇円)により、10月19日付け、東洋大学において文学博士の学位を授与されました。

□10月24日、東京に残る唯一の農村歌舞伎・二宮歌舞伎の復活公演が秋川市民広場で行なわれました。義太夫は、竹本弥乃太夫門下「藻汐会」のメンバーがつとめました。義太夫協会から祝電を申し込んだ時、担当したN.T.T.の人から「詳しい日時と場所を教えてください」と聞かれました。マスコミにも注目され、大成功裡に終わったとのこと。

□1月10日、NHKテレビ「ハンサムウーマン」に義太夫教室の現役と先輩が登場、働きながら古典に親しむ女性達の生き方・考え方などを話し合います。

□'93都民芸術フェスティバル 邦楽演奏会
*平成5年3月5日(金)

*昼の部 12時 夜の部 4時

*東京芸術劇場(池袋西口一分)
*東京都助成による特別料金 一五〇〇円
*邦楽連合会(義太夫・清元・古曲・新内・常磐津・長唄・三曲)主催の年一回の邦楽演奏会。第23回目の今年は、東京芸術劇場へ進出。義太夫は、昼「沢市内」朝重・重輝、夜「壺坂寺」駒之助・重輝の予定です。

□女流義太夫のポスターは、国立劇場・歌舞伎座など十数カ所でお目にとまっています。と思いますが、このたび神保町の豊田書房さんにも掲示させて頂けることになりました。

□事務所でアルバイトをしていた田坂州代さんが、昨年末退職、演劇の企画・制作に携わる仕事を始めました。2年7ヶ月間働いて下さいましたが、ここでの経験が役に立つといいですネ。有難うございました。

計 報

■堀本佳之氏(国立劇場事業課長)

平成4年10月18日逝去
(女流義太夫が本牧亭から国立演舞場に移るにあたって、日程の調整、ロッカーの確保等々全面的にお世話になりました。また、移転後も親身に相談にのって下さり、的確なアドバイスをして下さいました。本当に有難うございました。)

■工藤 清氏(賛助会員)

平成4年10月31日逝去
慎んで御冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

新年、あけましておめでとうございます。
このところ追悼記事ばかりで、去年ほど忘年会をしたと思っただけはありませんでした。若手の中にも故障者が続いたり、今年もかなりキビシイ年になりそう。激動期をどう生きるか、いま何より必要なのは長期的な展望でしょう、御意見を寄せ頂ければ幸いです。